

自動車用内燃機関技術研究組合（略称：AICE）の概要

- **設立年月日**：平成26年4月1日
- **理事長**：平井 俊弘（日産自動車(株)）
- **組合員**：（9企業、2団体）
いすゞ自動車(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、ダイハツ工業(株)、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、(株)本田技術研究所、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、国立研究開発法人産業技術総合研究所、(一財)日本自動車研究所
- **事業費**：平成29年度 5億円
- **事業の概要**：エンジンの熱効率向上及び排ガス浄化技術に関連する研究。

○組合設立の目的

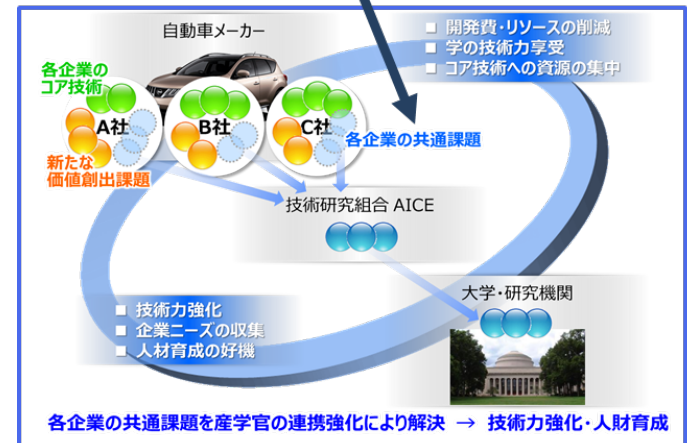
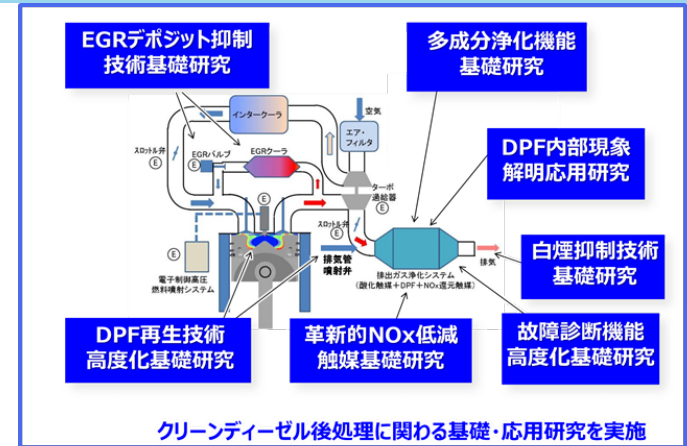
自動車の更なる燃費の向上・排出ガスの低減に向けて、内燃機関の燃焼技術および排出ガス浄化技術において各企業で共通な課題について、自動車メーカーおよび研究機関で学の英知を活用して基礎・応用研究を実施し、その成果を活用して各企業での開発を加速します。

○実用化の方向性

燃焼技術、後処理技術などの諸課題について、科学的な現象の解明、モデル化、評価手法策定などを行い、その成果を各企業において製品開発に反映し、より高性能な省燃費および低排出ガスの内燃機関を市場投入することを目指します。

○事業化の目途の時期

各企業組合員が、各々の研究課題終了後に、順次各社の製品開発に反映します。



高性能な内燃機関の市場投入

● 研究開発体制

自動車用内燃機関技術研究組合

(4)モデル事業

参画：いすゞ自動車・スズキ・SUBARU・ダイハツ工業・トヨタ自動車・日産自動車・本田技術研究所・マツダ・三菱自動車工業・産業技術総合研究所・日本自動車研究所

連携

(1) 及び(2)の成果のシミュレーションモデルによる活用技術の構築など

連携

計測データ、精度検証など

連携

(1) 後処理技術の高度化研究

場所：
つくば荻間分室・つくば東分室

参画：
いすゞ自動車・スズキ・SUBARU・トヨタ自動車・日産自動車・本田技術研究所・マツダ・三菱自動車工業・産業技術総合研究所・日本自動車研究所

連携

燃焼高度化時の排出ガス特性・後処理高効率活用技術など

(2) 燃焼技術の高度化研究

参画：
いすゞ自動車・スズキ・SUBARU・ダイハツ工業・トヨタ自動車・日産自動車・本田技術研究所・マツダ・三菱自動車工業・産業技術総合研究所・日本自動車研究所

連携

解析項目提示・評価結果など

(3) エンジン性能調査

場所：
つくば荻間分室
参画：
スズキ・SUBARU・ダイハツ工業・トヨタ自動車・日産自動車・本田技術研究所・マツダ・三菱自動車工業・日本自動車研究所

委託

研究委託：
茨城大学・京都大学・神戸大学・東海大学・東京工業大学・東京大学・東京都市大学・同志社大学・名古屋大学・広島大学・北海道大学・明治大学・横浜国立大学・早稲田大学・分子科学研究所

連携

JSTと連携協定を結び、SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）「革新的燃焼技術」の参加大学を支援